

NACCS業務講習会資料【保税】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

平成28年10月更新

● 輸入貨物業務（保税蔵置場）

- 保税蔵置場 搬出入業務の流れ
- 搬入・搬出業務一覧
- BIA：搬入確認登録（保税運送貨物）
【注意】BIA：搬入確認登録（保税運送貨物）
- BIB：システム外搬入確認（輸入貨物）
- BIX：システム外搬入確認取消
- BOA：搬出確認登録
- SAI: 輸入貨物情報訂正
- SAI：輸入貨物情報訂正（留意事項）

● 輸出貨物業務（保税蔵置場）

- 保税蔵置場 搬出入業務の流れ
- 搬入業務一覧
- 搬出業務一覧
- BIC：搬入確認登録（輸出未通関）
- BID：搬入確認登録（輸出許可済）
- BIE：システム外搬入確認登録（輸出許可済）
- BIF：輸出貨物情報訂正
- BOC：搬出確認登録（輸出許可済）
- バンニング情報登録の種類
- VAN：バンニング情報登録（コンテナ単位）
- VAE：バンニング情報登録（輸出管理番号単位）
【注意】経由地バンニング
- VAD：バンニング情報訂正
- VAA：バンニング情報追加
- VAC：バンニング情報取消

● 管理統計資料

- 管理資料について
- 管理統計資料の取り出しについて
- 保税管理資料保存サービスについて

● 見本持出について

- 見本持出業務一覧
- MHA（見本持出許可申請）
- MHC（見本持出取消）
- MHO（見本持出確認登録）

● 保税運送業務について

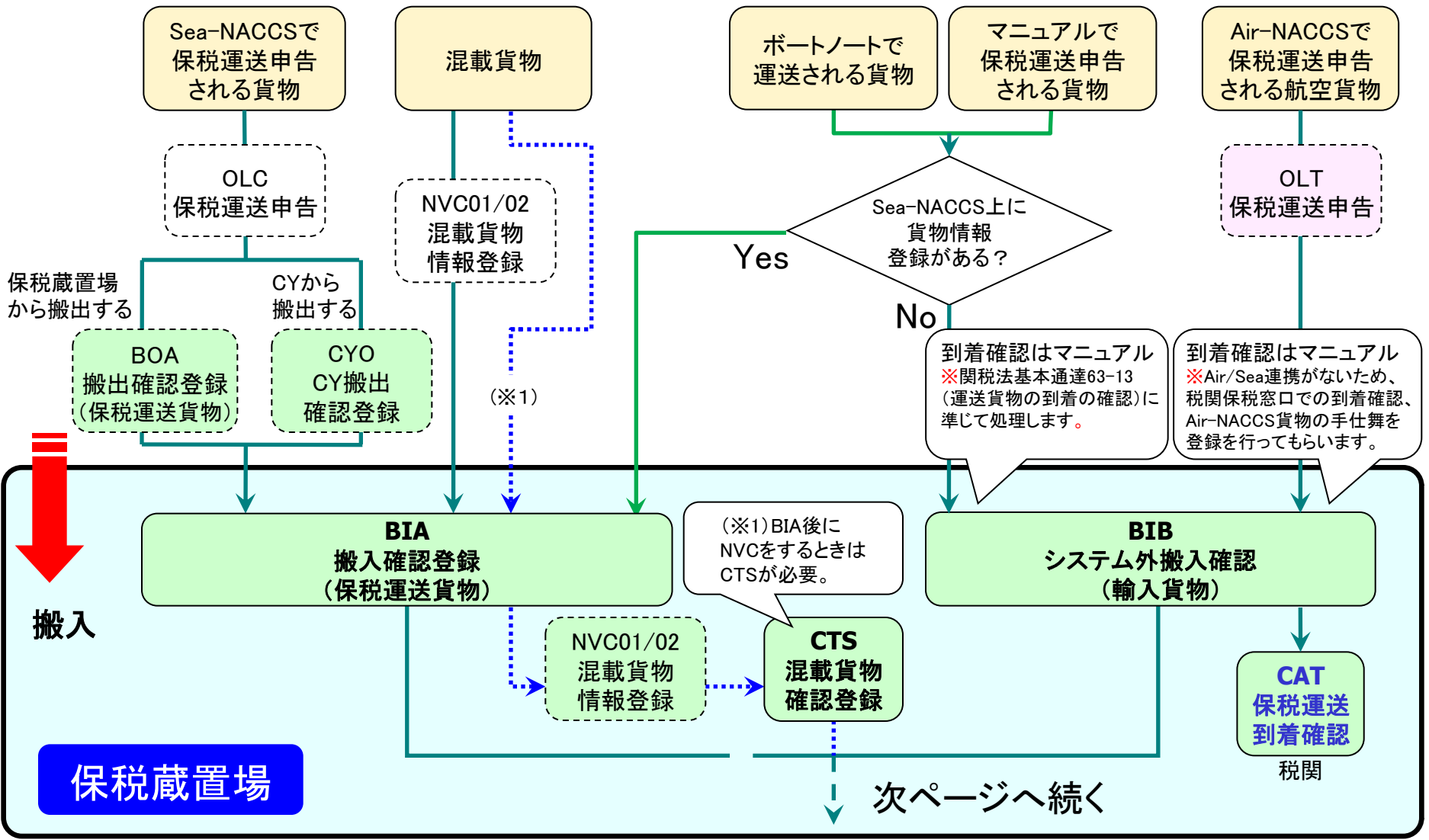
- 保税運送申告の流れ
- 保税運送申告について
- 保税運送申告の訂正・取消
- SOT：保税運送申告（承認）変更

● 参考

- 貨物情報照会について
- コンテナ情報照会について
- その他情報照会業務について
- 業務リンク機能について

輸入貨物業務（保税蔵置場）

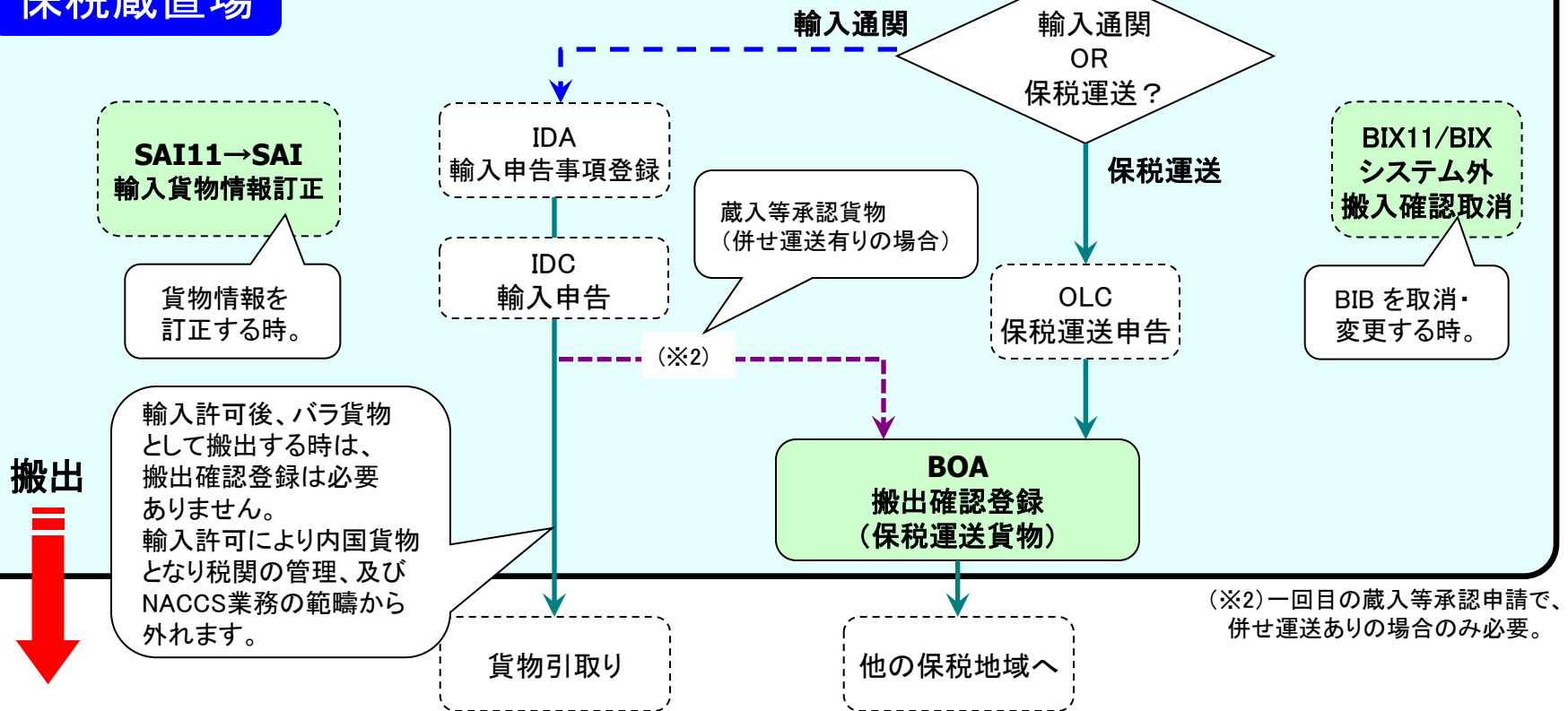
輸入貨物における搬出入業務



輸入貨物における搬出入業務(続き)

前ページから続く

保税蔵置場



搬出

輸入許可後、バラ貨物として搬出する時は、搬出確認登録は必要ありません。輸入許可により内国貨物となり税関の管理、及びNACCS業務の範疇から外れます。

(※2) 一回目の蔵入等承認申請で、併せ運送ありの場合のみ必要。

保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出あるいは輸入許可情報が登録された日の翌週に、「輸入貨物搬出入データ(G01)」が出力されます。

<p>BIA 搬入確認登録 (保税運送貨物)</p>	<p>NACCS参加保税地域(CY・保税蔵置場等)から保税運送した貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務により搬入確認情報を登録します。また、船卸場所からのポートノート運送等された貨物も、本業務により搬入確認情報を登録します。</p>
<p>BIB システム外搬入確認 (輸入貨物)</p>	<p>NACCS不参加保税地域(保税蔵置場等)から到着した輸入貨物または仮陸揚貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務により搬入確認情報を登録します。また、Air-NACCSで登録された貨物やMFR【積荷目録情報登録】が行われていない(Sea-NACCS上に情報が無い)貨物も、本業務で登録します。</p>
<p>BIX システム外搬入確認取消</p>	<p>BIB,CYB,CYD【システム外搬入確認】業務により登録された貨物情報を削除する、あるいはBIB,CYB,CYD【システム外搬入確認】業務により登録されたB/L番号を訂正する場合は、本業務を行います。 なお、本業務を行った後に、税関によりCAR【訂正保留解除】業務が行われることにより後続業務が可能となります。</p>
<p>BOA 搬出確認登録 (保税運送貨物)</p>	<p>保税蔵置場に蔵置中のコンテナ詰めされていないバラ貨物を保税運送のために搬出する場合は、本業務により搬出確認情報を登録します。(コンテナ詰めされている貨物はCYO【CY搬出確認登録】業務により行います。)</p>
<p>SAI 輸入貨物情報訂正</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物または仮陸揚貨物の情報を訂正する場合には、SAI11【輸入貨物情報訂正呼出し】業務により貨物情報を呼び出し、本業務により訂正します。当該訂正はPKI【船卸確認登録】業務が行われてから輸入許可等が行われるまで行うことができます。なお、訂正保留となった場合は税関によるCAR【訂正保留解除】業務が行われるまで、当該貨物の移動・取扱等を行うことができません。</p>

BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - __:__ 搬入識別* A ← 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着個数 - 重量 - 容積 - 危険貨物

記号番号 通知識別

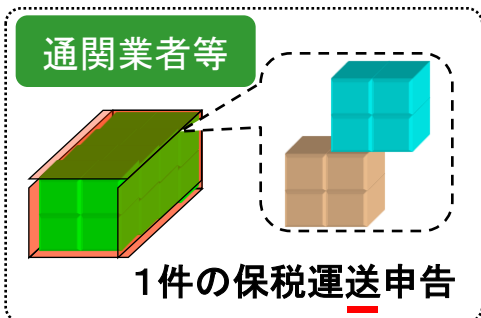
事故 1 2 3 4 5

記事

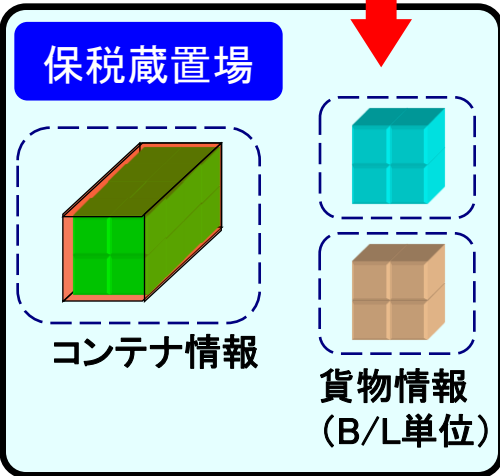
選択する
「搬入識別」により、
入力必須項目
あるいは入力不可
項目が異なります。

搬入識別が「C」、及び
「D」の場合は必須入力

選択する
「搬入識別」により、
入力する番号が
異なります。



BIA



搬入識別	
【一回に登録する件数や事故通知の有無などによって識別を使い分けます。】	
A	保税運送申告番号で登録するとき (一度に登録できるのは1申告)
B	コンテナ番号で登録するとき (一度に登録できるのは1コンテナ)
C	B/L番号で登録するとき (一度に登録できるのはB/L20件まで)
D	ポートノート搬入貨物または揚地協議有りの貨物のとき (B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
E	コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき (輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務で貨物情報呼び出した上で、SAI業務「輸入貨物訂正」を行います。(注:一部SAI業務では訂正できない項目もあります。)
なお、BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

- ・OLC業務にて保税運送申告された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。
- ・本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)

保税運送貨物で
事故あり

パースからの
保税運送貨物

【搬入確認登録(BIA)業務の入力パターン】

	保税運送申告番号単位	コンテナ番号単位	B/L番号単位	ポートノート、揚地詮議有貨物	コンテナ検査
1 搬入年月日(システム日より過去1年)	○	○	○	○	○
2 搬入時刻	△	△	△	△	△
3 搬入識別	A	B	C	D	E
4 搬入確認蔵置場(入力者と異なる場合)	△	△	△	△	△
5 搬入確認する番号	○(保税運送申告番号)	○(コンテナ番号)	○(B/L番号)	○(B/L番号)	○(輸入申告番号)
6 到着個数、個数単位コード	×	×	○	○	×
7 重量、重量単位コード	×	×	×	○	×
8 容積、容積単位コード	×	×	×	○	×
9 危険貨物等コード	×	×	△	△	×
10 記号番号	×	×	△	△	×
11 事故税関通知識別コード、事故コード	×	×	△	△	×
12 記事	×	×	△	△	×

○: 必須項目 △: 任意項目 ×: 入力不可

入力例<保税運送申告番号単位「A」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_ 搬入識別* A 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 15000057210

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<B/L番号単位「C」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_ 搬入識別* C 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH0123456789

到着個数 101 - CT 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 OVER 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(個数1カートオーバー)

入力例<コンテナ検査「E」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_ 搬入識別* E 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 11387934450

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<コンテナ番号単位「B」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_ 搬入識別* B 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0LCUT987650

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<ポートノート、揚地詮議有貨物「D」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_ 搬入識別* D 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH09876543210

到着個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積 1000.000 - MTQ 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 CYTRN 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(外装破れ)

※揚地詮議有貨物
貨物の数量が揚地(本邦輸入地)の保税蔵置場に
搬入の際に確定する貨物のこと。

【注意】BIA: 搬入確認登録(保税運送貨物)

搬入確認時に事故(不足・破損等があった場合)のBIA業務

BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - __:__ 搬入識別* C 搬入蔵置場

1 番号 SAKA1234567890

到着個数 998 - BG 重量 容積 危険貨物

記号番号 通知識別 Z

事故 1 SHORT 2 WETTO 3 4 5

記事

「搬入識別」
CまたはDの場合のみ
事故通知が可能

「通知識別」
税関への通知を要する
事故か否かを入力する
要する :Z
要しない:M

「事故」
OVERR(数量超過)
DENTE(へこみ)
BROKN(破損)など
(NACCS掲示板の
NACCS業務関連コード
「事故種別コード」参照)

保税蔵置場

搬入 !?!?

不足!
破損!

事故通知...

事故貨物確認情報

税関に事故通知

税関(保税部門)

税関で事故確認

・事故通知が必要な場合、搬入識別にA,B,及びEは選択できません。(CまたはDのみ事故通知が可能)
 ・本業務で税関に事故通知(Z)をした場合、貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)業務が行われるまで、
 後続業務(輸入申告・保税運送申告等)ができません。

BIB(システム外搬入確認) 入力画面

B/L番号*	OTH01234567890				
保税運送承認番号*	NACCS100-1				
搬入日時*	2012/02/17 -	搬入場所			
船舶*	9999	- ZEIKAN MARU			
仮陸揚識別		船卸港*	JPTYO	入港日*	2012/02/17
最終仕向地	JPTYO	積出地*	CNSHA		
荷送人	-				
名称	NACCS CHINA CO.,LTD.				
住所	999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA				
住所 St.1					
住所 St.2					
住所 City					
住所 Country-sub					
Postcode		Country			
電話番号	1234567890				
荷受人	P005A555-0000				
発送個数	110	到着個数*	100	- BG	
総重量*	1000	- KGM	ネット重量	-	容積
原産地	CN	危険貨物			
通知識別	Z	事故	1	SHORT	2 3 4 5
社内整理番号					

保税運送承認番号が無い場合は、ポートノート番号などを入力。(必須)

「B/L番号」

【B/L番号の先頭4桁の入力方法】

マニュアルで保税運送承認を受けた貨物
 ・船会社コード(SCAC)があれば入力
 ・船会社コードがない場合は「OTH0(ゼロ)」
 航空貨物を搬入した場合は「AIRO(ゼロ)」
 ※NACCS上に登録されている他の貨物情報と同じB/L番号は使用不可です。税関に相談の上、枝番を付すなどして対応します。
 ※B/L番号は先頭4桁も含め20桁以内です。

住所
(連続入力用)

住所
(4分割入力用)

「荷送人」「荷受人」

・輸出入者コードがあればコードを入力
 ・コードが無い、またはわからない場合は、『blank』とし、『名称』及び『住所(※)』等を入力
 ※住所は「連続入力」欄、または「4分割入力」欄のいずれかに入力すること。

本業務の取消し及び登録したB/L番号の訂正は、BIX業務「システム外搬入確認取消」により行います。

マニュアルで保税運送承認された貨物を保税地域に搬入する場合は、本業務を行います。本業務により、NACCS上に貨物情報が登録されます。

BIX11 (システム外搬入確認取消呼出し) 入力画面

削除貨物管理番号* ← 削除するB/L番号(または輸出管理番号)を入力

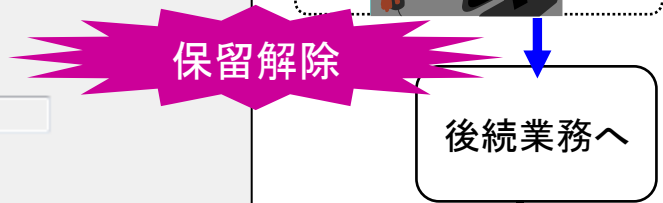
BIX (システム外搬入確認取消) 入力画面

削除貨物管理番号 貨物種別
削除理由コード* (DBL: 貨物の二重登録 MIS: B/L番号の入力ミス OTH: その他)

「削除理由」
・削除理由コードが「DBL」の場合は、正しい貨物管理番号(削除を伴わない貨物管理番号)を入力
・削除理由コードが「OTH」の場合は、具体的な削除理由を入力

削除理由
新貨物管理番号 ← 「新貨物管理番号」削除理由コードが「MIS」の場合は、訂正後のB/L番号を入力
許可承認番号 シス外搬入確認実施日 - 搬入日時
船舶コード -
入港年月日 船卸港 積出港
輸出入者 -
品名
記号番号
個数 - 重量 - 容積
最終仕向地 危険貨物 社内整理番号
コンテナ番号

「新貨物管理番号」
削除理由コードが「MIS」の場合は、訂正後のB/L番号を入力



・本業務の登録により、貨物情報は保留となりますので、税関でのCAR業務(訂正保留解除)が行われてから、後続業務に進むことができます。
・本業務は、システム外搬入確認登録を行った日を含め、3日以内(日・祝除く)登録可能です。
但し、輸入申告・保稅運送申告等の後続のNACCS業務が行われた場合は、本業務ができなくなります。

BOA(搬出確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

処理区分*	9 (9: 搬出確認 1: 搬出取消し)	
搬出日時	2012/02/17 - __: __	
発送地		
貨物管理番号	1 SAKA1234567890	2
	3	4
	5	6
	7	8
	9	10
	11	12
	13	14
	15	16
	17	18
	19	20

「搬出日時」
 全量搬出したことを確認してから登録すること。
 搬出日が複数日にまたがった場合、最後に全量搬出された日を搬出日時とする。

「発送地」
 発送地が入力者の管理する保税地域である場合のみ省略可能

「貨物管理番号」
 B/L番号または輸出管理番号を入力
 1回のBOA業務で20件まで登録可能

本業務の取消しは、
 処理区分「1: 搬出取消し」にて行う。
 貨物管理番号単位での取消しが可能です。
 但し、到着地保税蔵置場で搬入がされている場合は、取消が出来なくなります。

コンテナ詰めされていないバラ貨物を保税運送申告後に搬出する場合は、本業務を行います。
 (コンテナ詰めされている貨物をCYから搬出する場合は、CYO(CY搬出確認登録)業務になります。)

SAI11(輸入貨物情報訂正呼出し)入力画面

B/L番号* OTH01234567890

必ずSAI11業務にて情報呼び出します。

保税蔵置場

記号番号のタイプミス!



SAI(輸入貨物情報訂正) 入力画面

共通部 繰返部

B/L番号* OTH01234567890

訂正理由* 6

保税運送承認番号 NACCS100-1

搬入日時 2012/02/17 - __:__

船舶 9999 - ZEIKAN MARU

船卸港 JPTYO 入港日* 2012/02/17 船積港 CNSHA

最終仕向地 JPTYO - TOKYO - TOKYO

荷送人 _____

名称 NACCS CHINA CO., LTD.

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

- 1:個数・重量・容積の入力ミスのため
- 2:個数・重量・容積のカウントミスのため
- 3:税関に事故を通知した(事故税関通知識別:Zを入力した)貨物に関する訂正のため
- 4:品名に誤りがあるため
- 5:貨物の記号番号に誤りがあるため
- 6:その他の理由のため

SAI画面で訂正箇所を上書きします。

記号番号 NACCS IN DIA
MADE IN CHINA

個数* 200 - BG 重量* 2000.000 - KGM

ネット重量 - 容積 -

原産地

- ・本業務を登録した結果、帳票(SAS0760)の「訂正保留表示」欄が「P(訂正保留)」となった場合は、税関でのCAR(訂正保留解除)が行われるまで後続業務ができません。
- ・本業務で訂正できない項目があります。(次ページ参照)

輸入貨物情報訂正情報

B/L番号 OTH01234567890

訂正保留表示 P 訂正実施者 1AHB7 訂正理由 6

(訂正前)

保税運送承認番号 NACCS100-1

■ SAI業務では訂正できない項目があります。

SAI業務では訂正できない項目例

- ・仮陸揚識別 / 仮陸揚事由コード / 仮陸揚期間 (税関のみ訂正が可能)
- ・船舶コード / 積載船名 / 船卸港コード (但し、システム外搬入確認により登録された場合は SAI業務により訂正が可能)

■ SAI業務を実施する際には、通関などの他利用者の作業が進んでいないか、注意が必要です。

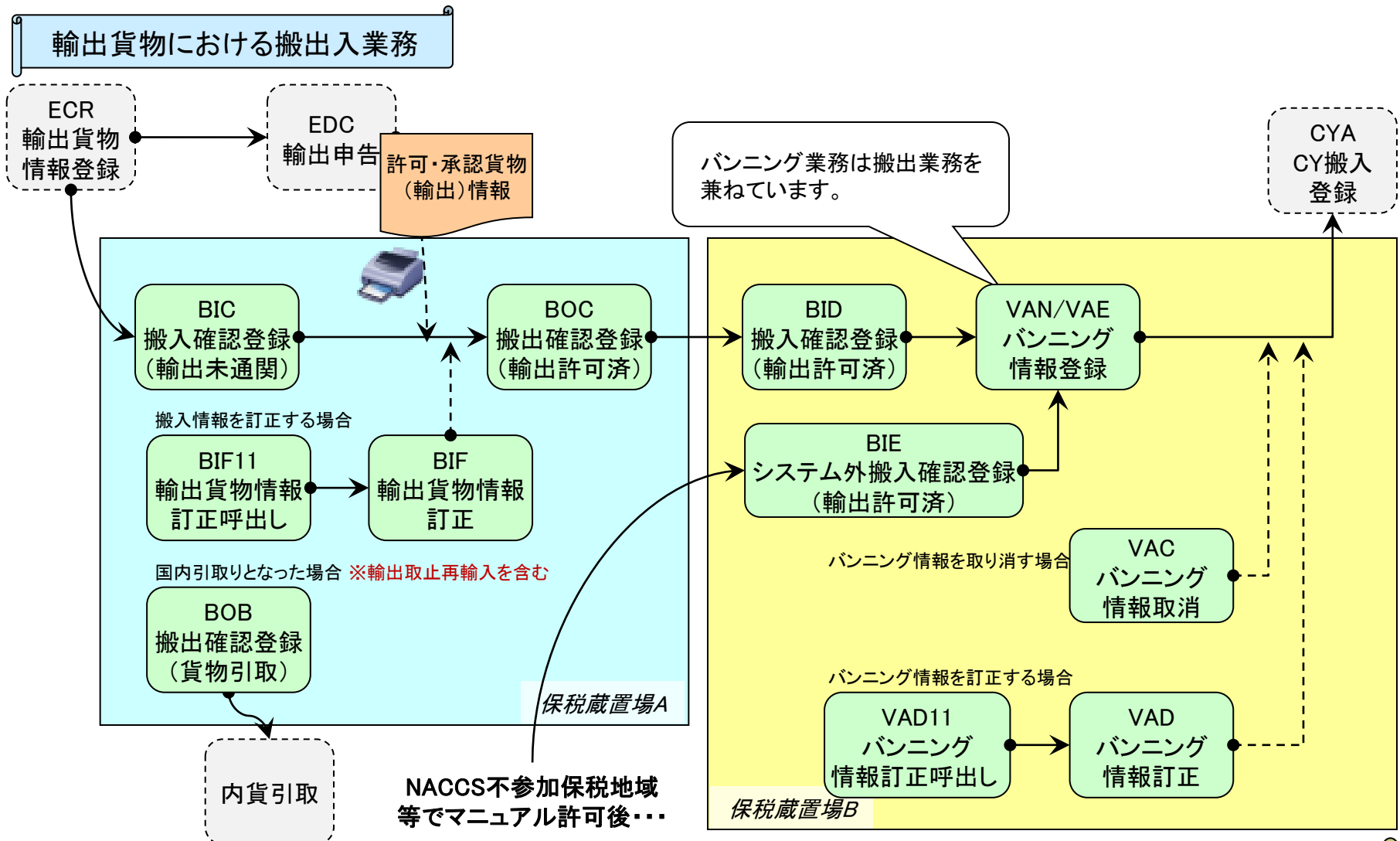
<注意>

「**輸入申告事項登録(IDA)**」業務が既に行われている場合、SAI業務を行っても輸入申告情報の下記の項目は訂正されません。貨物情報と輸入申告情報の内容を一致させるため、別途通関業者が輸入申告情報の訂正も行う必要があります。

輸入申告情報の訂正も必要な項目

- ・船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コード
- ・荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号
- ・個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号

輸出貨物業務（保税蔵置場）



保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出あるいは輸出許可情報が登録された日の翌週に、「輸出貨物搬出入データ(G02)」が出力されます。

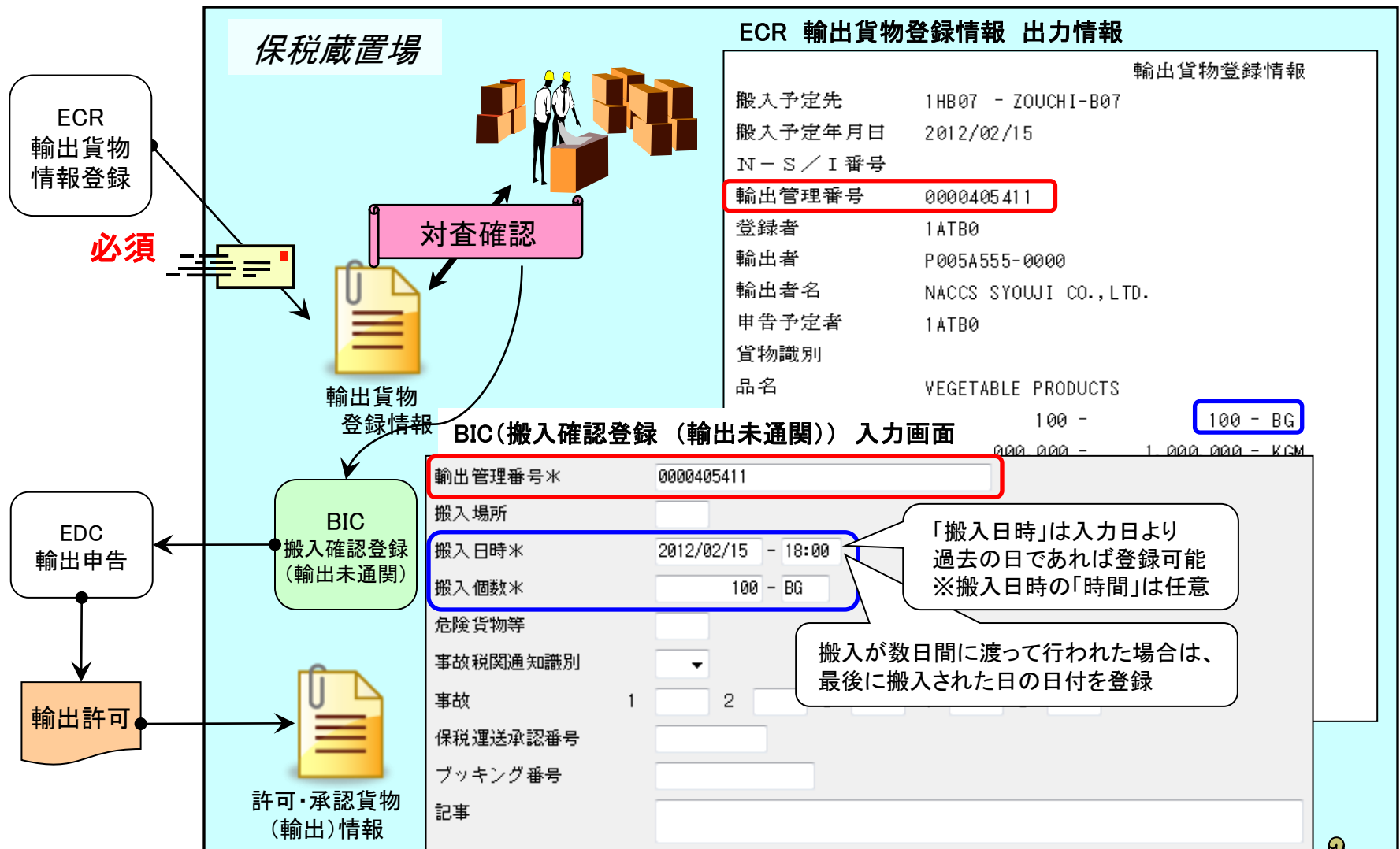
<p>BIC 搬入確認登録 (輸出未通関)</p>	<p>未通関輸出貨物及び未通関積戻貨物を保税地域に搬入した場合は、本業務により、輸出貨物管理番号単位で搬入確認の旨を登録します。</p> <p>また、特定輸出申告によるコンテナ詰めされていないバラ貨物の許可済貨物で、ECR業務で搬入予定先に指定された場合は、本業務により搬入確認登録を行います。</p>
<p>BID 搬入確認登録 (輸出許可済)</p>	<p>前保税地域でBOC【搬出確認登録(輸出許可済)】業務が行われている貨物を、コンテナ詰めされていない状態で保税地域に搬入した場合は、本業務により輸出貨物管理番号単位で搬入確認の旨を登録します。</p> <p>また、特定輸出申告によるコンテナ詰めされていないバラ貨物の許可済貨物で、ECR業務で搬入予定先が自社施設コード等システム不参加蔵置場の場合は、本業務により搬入確認登録を行います。</p>
<p>BIE システム外搬入確認登録 (輸出許可済)</p>	<p>前保税地域がNACCS不参加であり、かつ、NACCSシステムを使用せずに輸出申告がされた許可済貨物(積戻許可を含む。)を、コンテナ詰めされていない状態で保税地域に搬入した場合は、本業務により搬入確認登録を行います。</p> <p>本業務では、貨物情報を新規に登録する処理を行い輸出管理番号を払い出します。</p>
<p>BIF 輸出貨物情報訂正</p>	<p>NACCS参加蔵置場(または他所蔵置場所)に蔵置されている輸出申告中あるいは輸出許可済の貨物の情報を訂正する場合は、BIF11業務で貨物情報を呼び出し、本業務により訂正します。</p> <p>本業務を送信した結果、「訂正保留(P)」となった場合は、税関担当に保留解除の依頼をする必要があります。</p>

<p>BOC 搬出確認登録 (輸出許可済)</p>	<p>保税地域に蔵置中のコンテナ詰めされていない輸出許可(積戻し許可含む。)済のバラ貨物を保税地域から搬出する場合は、本業務により、その旨を登録します。</p>
<p>BOB 搬出確認登録 (貨物引取り)</p>	<p>保税地域に蔵置中のコンテナ詰めされていないバラ貨物を、内貨引取りによって搬出する場合は、本業務により搬出確認情報を登録します。 また、減却・収容のため搬出する場合も、本業務を登録します。</p>
<p>VAN バンニング情報登録 (コンテナ単位)</p>	<p>輸出貨物をコンテナにバンニングした場合は、「バンニング情報登録」業務(VANまたはVAE)を行います。本業務の登録によりコンテナ番号と輸出管理番号の関連付けと共に搬出確認登録を行います。(そのため、必須業務になります。)</p>
<p>VAE バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)</p>	<p>なお、NACCS不参加保税蔵置場でバンニングした場合は、海貨業、通関業が必ず登録することとなります。</p>
<p>VAP バンニング情報予定登録 (コンテナ単位)</p>	<p>バンニング情報登録(VANまたはVAE)に先立ち、あらかじめ予定情報を登録する場合「バンニング情報予定登録」(VAPまたはVPE)を行います。 コンテナ番号をキーとして輸出管理番号を関連付ける場合はVAP業務にて、また、輸出管理番号をキーとしてコンテナ番号を関連付ける場合はVPE業務にてバンニング予定情報を登録します。(コンテナ番号が不明な場合はNACCSが仮コンテナ番号を払い出します。)</p>
<p>VPE バンニング情報予定登録 (輸出管理番号単位)</p>	<p>なお、本業務は任意業務ですので、必ず実施する必要はありません。</p>

VAD バンニング情報訂正	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報のバンニング個数、重量、容積等を訂正する場合は、VAD11業務によりバンニング情報を呼び出し、本業務により訂正します。
VAA バンニング情報追加	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報に輸出管理番号を追加する場合は、VAA11業務によりバンニング情報を呼び出し、本業務により追加します。
VAC バンニング情報取消し	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報について、関連付けられたコンテナ番号または輸出管理番号の一括取消しあるいは一部取消しを行う場合は、本業務により取消しをします。

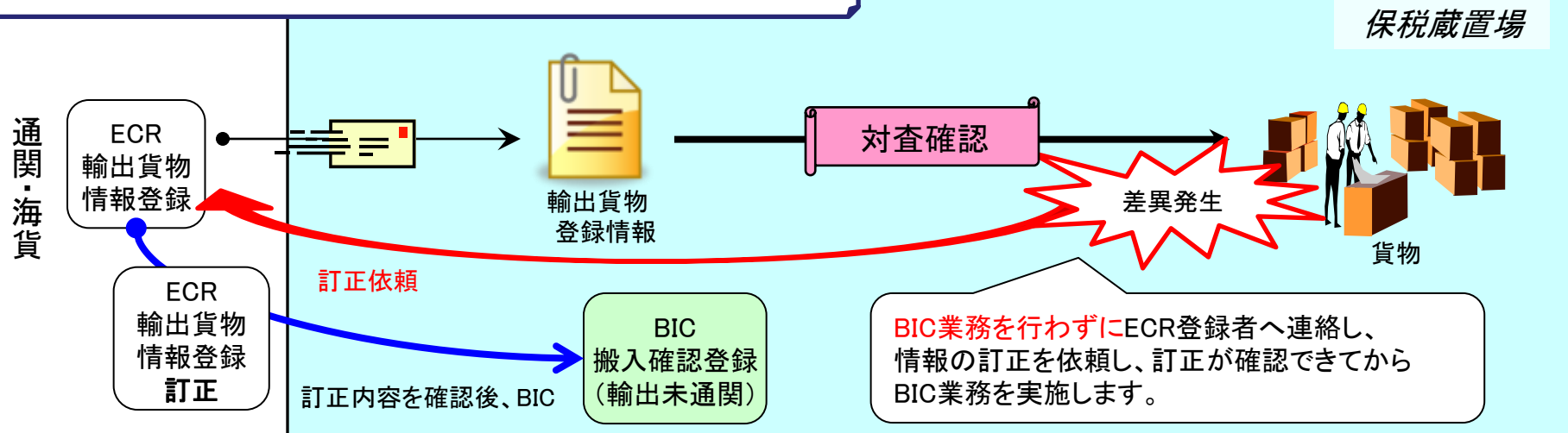
通関・海貨

通関

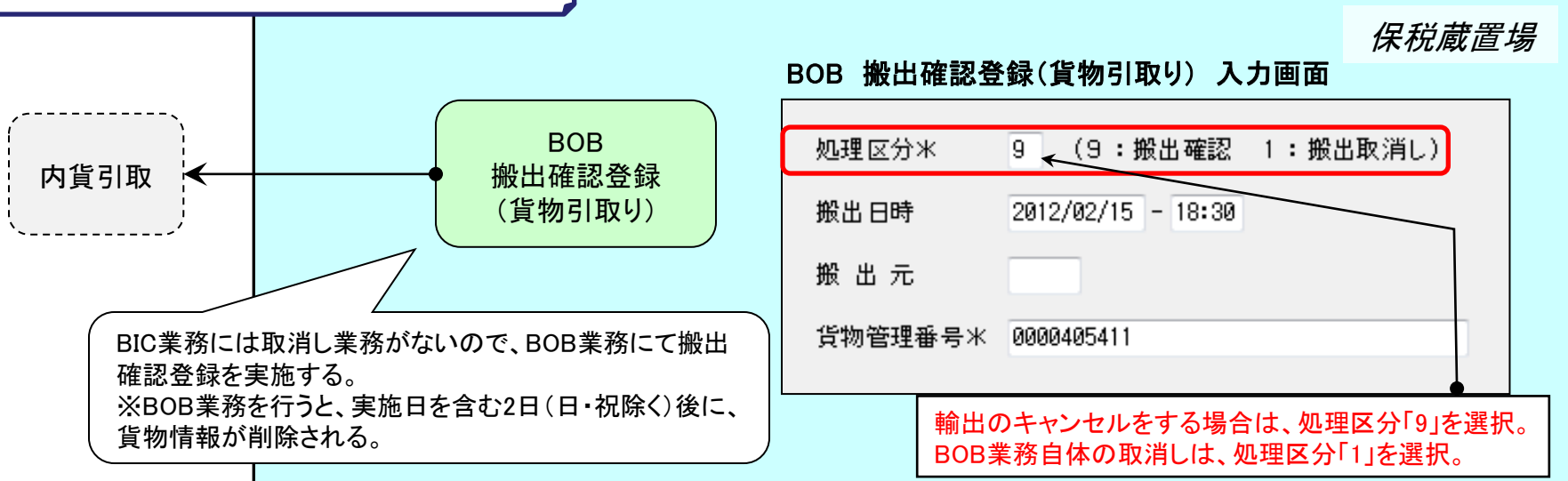


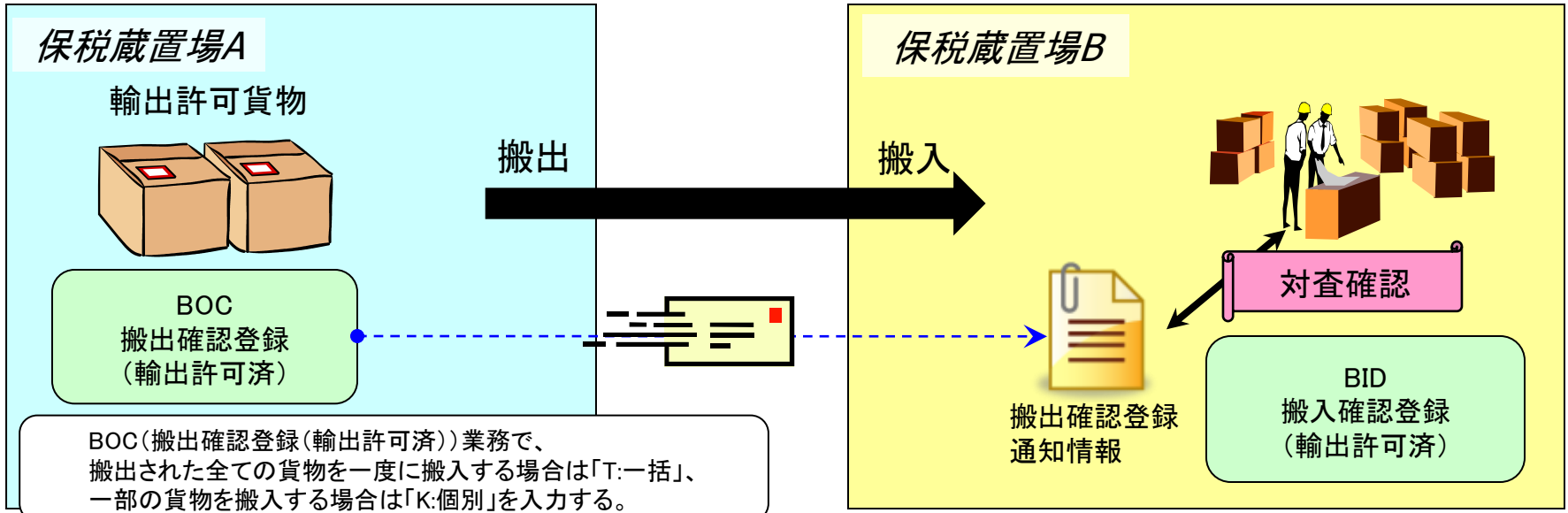
本業務の入力は、基本的に「輸出管理番号」、「搬入日時」、「搬入個数(単位)」の必須項目を入力するのみとなっています。

① ECR(輸出貨物登録情報)と搬入貨物の個数等が合致しなかった場合



② 搬入した貨物の輸出がキャンセルになった場合





BID (搬入確認登録 (輸出許可済)) 入力画面

「T:一括」の場合

処理単位* T (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01

「T:一括」の場合は必須入力

「K:個別」の場合

処理単位* K (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01 0000405411 100

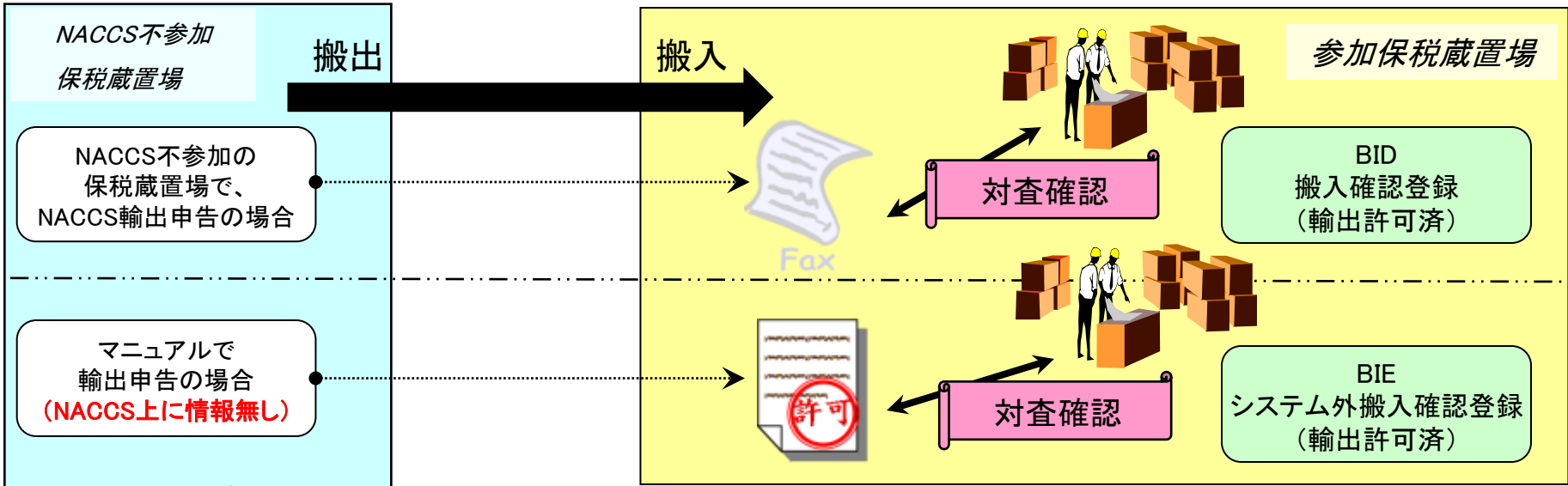
搬出元が、システム不参加蔵置場である場合には入力不要

搬入日時が輸出管理番号毎に異なる場合は、「K:個別」でBID業務を実施する。

「K:個別」の場合は必須入力。

搬出番号は、以下2通りの欄部に表示されます。

- ① ICG (貨物情報照会) 業務の指定情報「TRN:搬出入情報」の許可承認番号欄
- ② BOC業務実施の際、出力される帳票「搬出確認登録通知情報」の左側最上部



NACCS不参加保税蔵置場(地域)で、NACCSシステムで輸出申告された場合は「BID」業務、マニュアルで輸出申告された場合は「BIE」業務を行います。

BIE システム外搬入確認登録(輸出許可済) 入力画面

輸出許可番号*	13676243550		
搬入日時*	2012/02/16 - 15:00		
積戻し許可	▼		
発送個数	到着個数*	100 - BG	
重量*	1000.000 - KGM	容積	▼
輸出者	P005A555-0000		
輸出者名	_____		
品名*	VEGETABLE PRODUCTS		
船会社	SAKA 積載予定船舶*	9999 - NACCS MARU	航海番号 100
入港日	2012/02/15	積出港*	JPTYO 出港日 2012/02/20 船卸港 USLAX
荷受形態*	51	荷渡形態	51
社内整理番号	_____		
記号番号*	NACCS IN DIA		
最終仕向地*	USLAX	ブッキング番号	_____
事故税関通知識別	▼		

貨物を搬入した(BIC業務)後に
個数・重量・容積等の訂正があった場合！

BIF(輸出貨物情報訂正)入力画面

輸出管理番号	0000405411						
訂正理由*	1 ←						
蔵置場所	1HB07						
輸出者	P005A555-0000						
輸出者名							
申告予定者	1ATB0						
品名*	VEGETABLE PRODUCTS						
総個数*	100	- BG	総重量*	1000.000	- KGM	総容積	-
船会社	SAKA	積出予定船舶	9999	-	NACCS MARU	航海番号	100
入港日	2012/02/15	積出港	JPTYO	出港日	2012/02/20	船卸港	USLAX
荷受形態*	51	形態	51				
社内整理番号	No. []						
記事							
最終仕向地*	積戻許可済						
搬入日時	2012/02/15	- 18:00					
搬入個数*	100	搬入重量*	1000.000	搬入容積			
記号番号*	NACCS IN DIA						
入庫管理番号							

訂正理由	
1	個数・重量・容積の入力ミス
2	個数・重量・容積のカウントミス
3	税関に事故通知した貨物の訂正のため
4	品名に誤りがあるため
5	貨物の記号番号に誤りがあるため
6	その他の理由のため

BIF11(輸出貨物情報訂正呼出し)入力画面

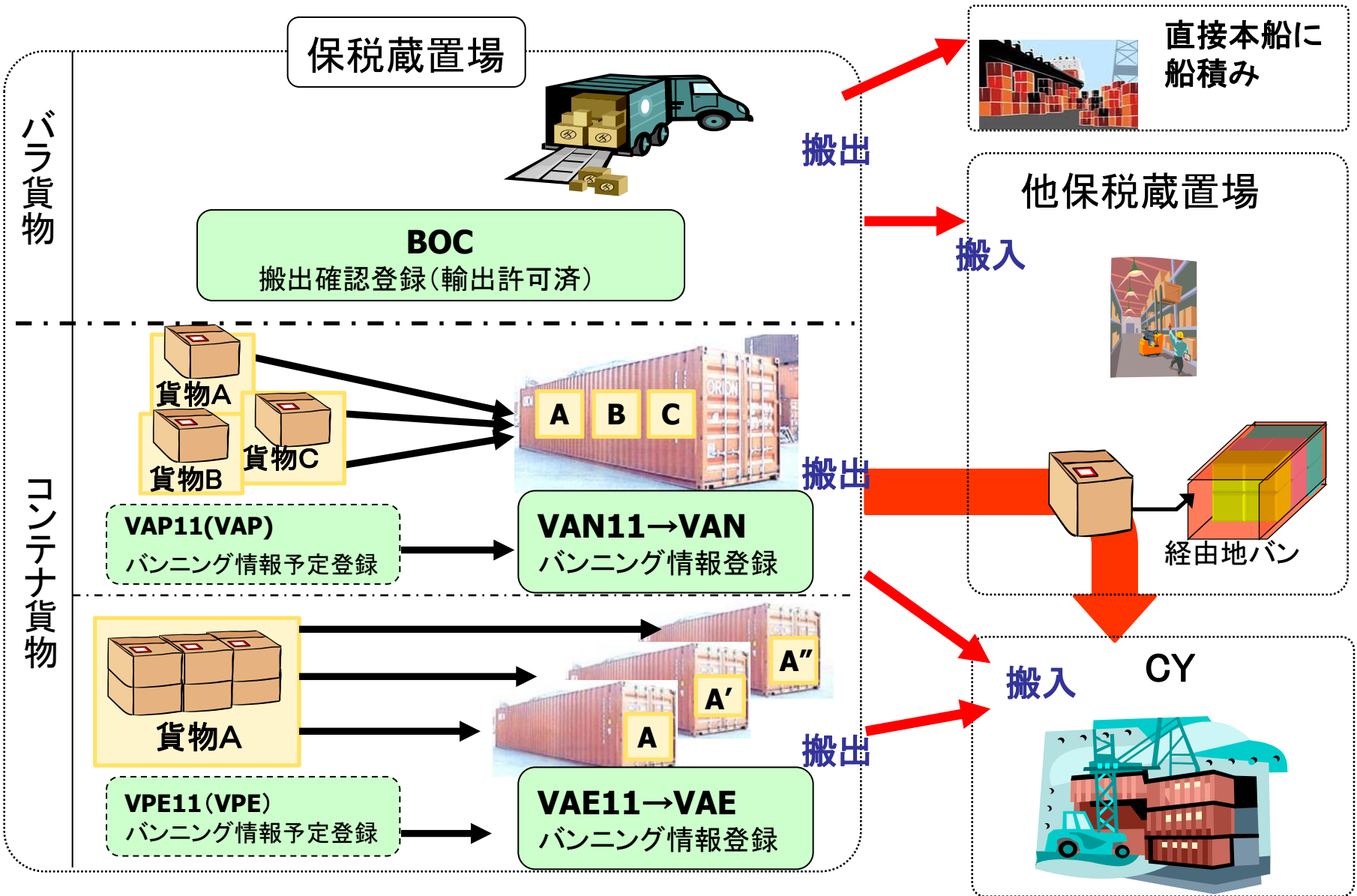
輸出管理番号*	0000405411
蔵置場所	[]

入力者が当該貨物が蔵置されている保税蔵置場であれば、入力の省略が可能です。

個数訂正の場合は、「総個数」だけでなく「搬入個数」も訂正が必要です。訂正忘れにご注意ください。

本業務を行う際、既に通関業者がEDA(輸出申告事項登録)業務を行っている場合は、通関業者へ輸出申告情報の変更をお願いする必要があります。また、輸出許可後である場合は、許可後訂正が必要となります。

- ・BIF11業務で貨物情報呼び出してから訂正した方が、入力においてミスを防げます。
- ・本業務は、貨物が当該蔵置場に「蔵置中」の時に、実施が可能です。
- ・本業務送信の結果、「訂正保留」となった場合は、税関に保留解除の依頼をする必要があります。



BOC(搬出確認登録(輸出許可済)) 入力画面

処理区分*	9	(9: 搬出確認	1: 搬出取消し(一括)	3: 搬出取消し(個別))
搬出番号	<input type="text"/>	搬出日時	2012/02/16 - 14:00	
発送地	<input type="text"/>	搬入先	1HB00	
船会社	<input type="text"/>	通知先	<input type="text"/>	
運送会社等	<input type="text"/>			
輸出管理番号		発送個数	発送重量	発送容積
01	0000405411	100	1000.000	<input type="text"/>
02	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
05	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

BOC業務で、
全ての貨物の搬出を、一度に取り消す場
合は、処理区分「1:搬出取消し(一括)」、
一部の貨物の搬出を取り消す場合は、
「3:搬出取消し(個別)」を選択します。

- 『搬入先』は、貨物が次に搬入される**保税地域コード**を入力する。
- 搬出後、保税地域を経由せずに直接本船へ積む場合は『搬入先』に
船舶コード(コールサイン)を入力し、『船会社』欄に**船会社コード**を入力する。
(不明な場合は、『搬入先』と『船会社』の両方に『9999』を入力)
- 搬出後、航空貨物となる場合は、**航空保税地域コード(航空保税蔵置場)**を入力する。

本業務は、登録日より60日間(日・祝含む)取消可能ですが、次の保税蔵置場でBID(搬入確認登録)業務が行われた場合は取消できません。

バンニング情報登録には、以下の二通りがあります。

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

コンテナ番号: TCKU1234567

貨物管理番号:



詰

0000616601



0000616701



0000616501



VAN

バンニング情報登録
(コンテナ単位)

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

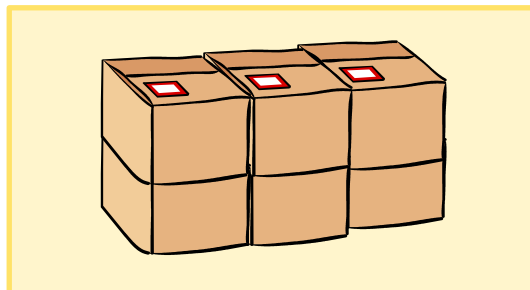
貨物管理番号: 0001357901

コンテナ番号:

ACSN0000001

ACSN0000002

ACSN0000003



詰

詰

詰



VAE

バンニング情報登録
(輸出管理番号単位)

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

VAN11(バンニング情報登録呼出(コンテナ単位))入力画面

コンテナ番号 TCKU1234567 仮コンテナ番号

バンニング場所 1HB00

社内整理番号

輸出管理番号等

001	0000616601	002	0000616701
003	0000616501	004	<input type="text"/>

バンニング予定情報が登録されている場合は、仮コンテナ番号を入力することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※サイズの単位:フィート

※温度設定可能なコンテナ

VAN(バンニング情報登録(コンテナ単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - _:_

コンテナ番号* TCKU1234567

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 ← コンテナタイプ GP ←

バンニング場所 -

共通部 繰返部

001 輸出管理番号等 0000616601
バンニング個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積
ブッキング番号(貨物)

002 輸出管理番号等 0000616701
バンニング個数 2 - CS 重量 100.000 - KGM 容積
ブッキング番号(貨物)

003 輸出管理番号等 0000616501
バンニング個数 1 - CS 重量 50.000 - KGM 容積

シール番号欄は必須項目です。コンテナがフラットラックコンテナの場合は、「NIL」と入力する。

1本のコンテナに輸出管理番号100件まで登録可能

- ・搬入先コードは必須入力。搬入先の保税地域コード、または直接本船に船積みする場合は、積載予定船舶コードを入力します。
- ・経由地バンニング時は、経由地コードを入力し、シール番号は入力できません。

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

VAE11(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)呼出)入力画面

輸出管理番号等 0001357901

バンニング場所

社内整理番号

バンニング予定情報呼出し識別

コンテナ番号

01 ACSN0000001 02 ACSN0000002 03 ACSN0000003

04 05 06

バンニング予定情報が登録されている場合は、当該識別「1」を選択することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

VAE(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB04

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - _:_

輸出管理番号等* 0001357901

バンニング場所 -

ブッキング番号(貨物単位)* BOOKING200

共通部 **繰返部**

1 / 3

01 コンテナ番号 ACSN0000001

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL01 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング個数 16 - CS 重量 900.000 - KGM 容積

02 コンテナ番号 ACSN0000002

・本業務一回につき、30本までバンニング登録することができます。
30本を超過する場合は、再度、同様の手順で本業務を行って下さい。

【注意】経由地バンニング

バンニング後、別の保税蔵置場で同コンテナにバンニングをする場合

保税蔵置場 1HB00 ※始めのバンニング場所

CMTU9876540

保税蔵置場 1HB07 ※次のバンニング場所

CMTU9876540

合積み

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード 1HB07

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/15 - : -

コンテナ番号* CMTU9876540

コンテナ自重 2200 - KGM

シール番号 1 VAN-ADD1.PNG 3 4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 1HB00 -

ブッキング番号 (コンテナ) BOOKING100

搬入先コード欄は必須入力。経由地コード欄に「第2バンニング場所」の保税地域コードを入力

シール番号は入力不可

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/15

コンテナ番号* CMTU9876540

コンテナ自重 2200 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2 3 4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 1HB07 -

ブッキング番号 (コンテナ)

「保税蔵置場B」では、通常通り、バンニング登録を行って下さい

VAD11(バンニング情報訂正呼出し) 入力画面

処理区分* (5:コンテナ情報の訂正
4:貨物情報の訂正
3:バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

コンテナ番号

バンニング場所

複数コンテナにバンニング登録した場合、訂正したいコンテナ番号を入力する。
 ※貨物情報や個数等の訂正する際は、任意で1本のコンテナ番号を入力する。

残個数がないときは、残個数「0(ゼロ)」と入力し、重量と容積は空白とする。
 残個数があるときは、残個数、重量、容積を入力する。
 ※こちらの項目についてのみ、CY搬入後でも訂正が可能。

VAD(バンニング情報訂正)入力画面

処理区分* (5:コンテナ情報の訂正 4:貨物情報の訂正 3:バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

コンテナ番号

バンニング場所

積出港

コンテナ自重 -

シール番号

1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>

コンテナサイズ コンテナタイプ

ブッキング番号 (コンテナ)

ブッキング番号 (貨物)

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

残個数 重量 容積

区分5:コンテナ情報

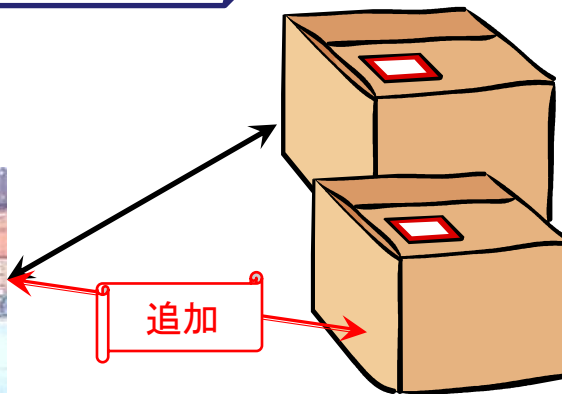
区分4:貨物情報

区分3:バンニング
個数、重量、容積

- ・VAD11業務で登録情報を呼び出し、本業務で必要箇所を上書き訂正します。
- ・CLR(船積情報登録)業務後は、本業務は出来ません。

1コンテナ番号に対し、輸出管理番号の紐付けを追加したい場合

コンテナ番号: CMGU123456



貨物管理番号: 0000405411

貨物管理番号: 0000406551

VAA11 (バンニング情報追加呼出し) 入力画面

コンテナ番号*	CMGU123456
バンニング場所	
輸出管理番号等*	0000406551

VAA (バンニング情報追加) 入力画面

コンテナ番号*	CMGU123456			
バンニング場所	1HB00 - ZOUCHI-B00			
輸出管理番号等*	0000406551			
バンニング個数*	100 - BG 重量*	1000.000 - KGM	容積	
ブッキング番号 (貨物単位)				

VAN業務またはVAE業務で登録されたバンニング情報に輸出管理番号を追加する場合は、本業務にて行います。
また、1輸出管理番号にコンテナ番号の紐付けを追加したい場合は、VAE業務にて行います。

VAC(バンニング情報取消) 入力画面

コンテナ番号 TSCU123456
 輸出管理番号等
 バンニング場所 -

コンテナ番号
 輸出管理番号等 0000406551
 バンニング場所 -

コンテナ番号 TSCU123456
 輸出管理番号等 0000406551
 バンニング場所 -

【バンニング情報取消の入力パターン】

	コンテナ番号単位の一括取消し※	輸出管理番号単位の一括取消し※	輸出管理番号等の取消し	コンテナ番号の取消し
1 コンテナ番号	○	×	○	○
2 輸出管理番号等	×	○	○	○
3 バンニング場所コード	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)
4 バンニング場所地域名	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)

※輸出管理番号とコンテナ番号とが1対1の時は、輸出管理番号とコンテナ番号のどちらかを入力する。

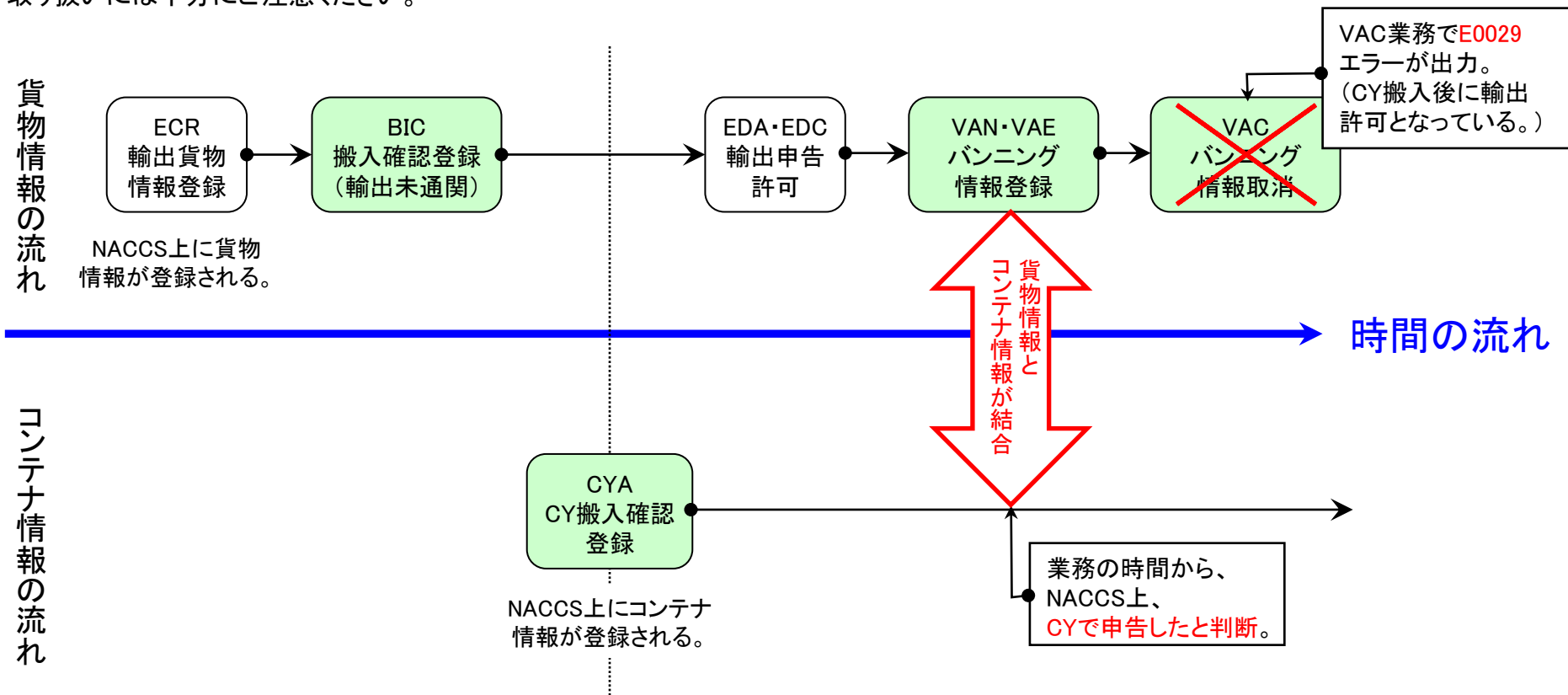
- : 必須項目
- △: 任意項目
- ×: 入力不可項目

・コンテナ番号を誤って入力した場合は本業務を使用してコンテナ番号を取り消し、正しいコンテナ番号で、再度VAN業務またはVAE業務をする必要があります

・既にCY搬入済であっても、CY輸出申告前、又は船積登録前であれば、本業務は可能です。
 ただし、コンテナ番号単位及び輸出管理番号単位での「一括取消し」はできません。
 またCY輸出申告後は、税関で申告撤回をする必要があります。

本業務を行う時は、CYに必ず連絡した上で行うようにしてください。

下記の流れでは、システム上、**CYで申告したと判断される**ため、コンテナ番号の入カミス等におけるVAC業務は出来ませんので、取り扱いには十分にご注意ください。



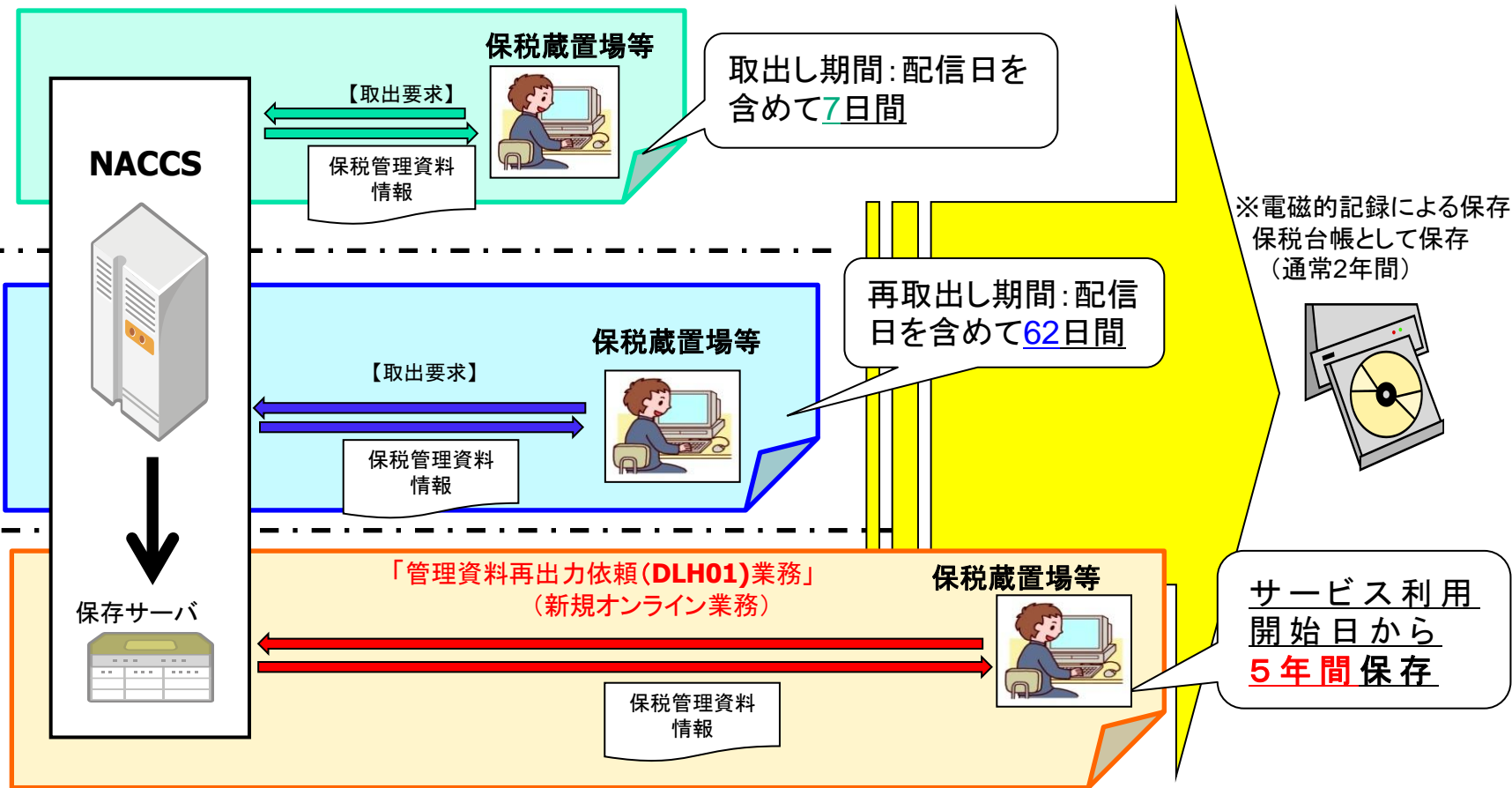
対処方法としては、「①輸出申告の撤回をしてCYO業務を行い、再度ECR業務からやり直す」、または「②誤ったコンテナのまま後続業務を行い、マニュアルで処理を行う」といった方法がありますが、いずれも税関の指示を受けてください。またシステム上は、輸出申告・許可前に通関蔵置場から搬出されて、CYに貨物が搬入されている、いわゆる「空通関」の状態ですので、税関から指導を受けることもあります。

管理統計資料

通常時

再取出し

保存サービス利用



☆保税台帳として利用可能な管理資料情報

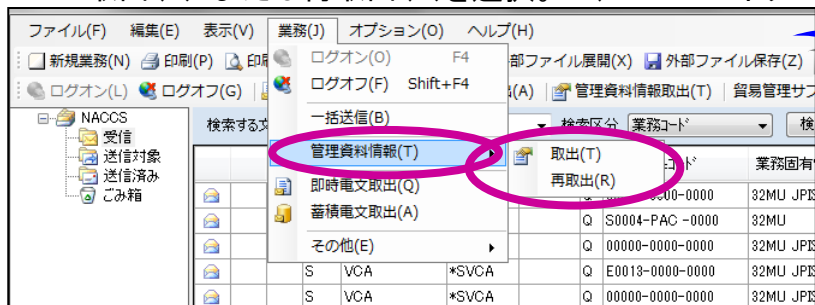
- ① G01(81) 輸入貨物搬出入データ(週報/月曜配信)SBS1400
- ② G02(82) 輸出貨物搬出入データ(週報/火曜配信)SBT0200
- ③ G05(85) 貨物取扱等一覧データ(週報/火曜配信)SBS1700

※電磁的記録による保存を行う場合には、事前に管轄税関への届け出が必要となります。

管理統計資料の取出し～展開について①

○ 定期的に配信される管理資料は、以下の手順で取出します。

- ① パッケージソフトの上部メニューから、業務(J) | 管理資料情報 | ととどり、取出(T)*または再取出(R)を選択。（*メニューボタンからも取出可能）



- ② 取出、または再取出したい管理資料を☑選択。

- ③ 「取得」ボタンをクリック。



・取出したい管理資料をチェックします
 ・チェックをまとめて行いたい場合は、右クリックしサブメニューを利用します

状態
 取得済み
 取得済み
 取得済み

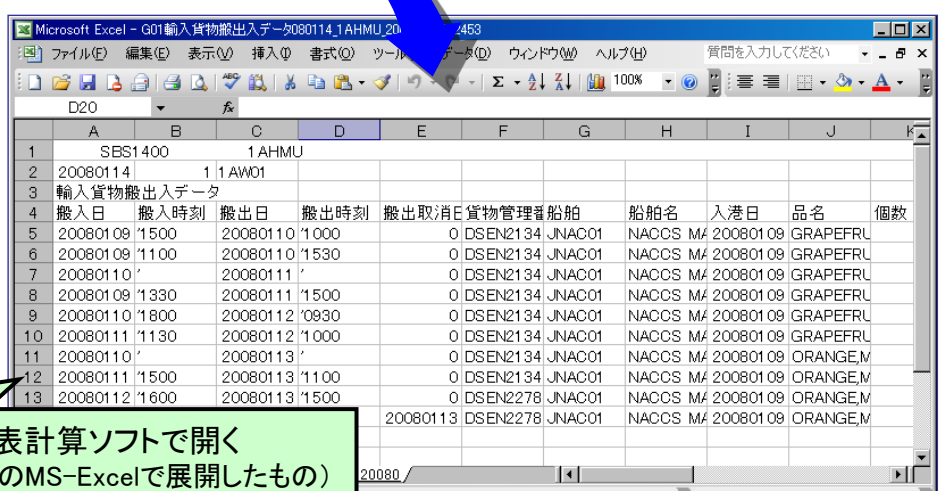
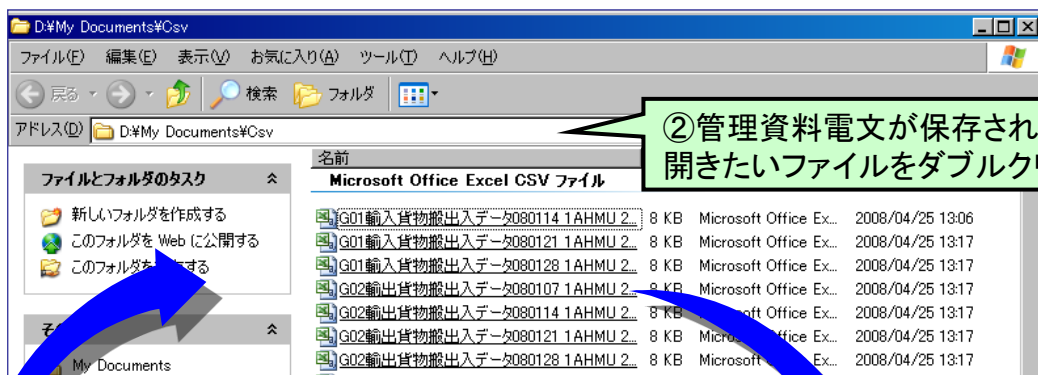
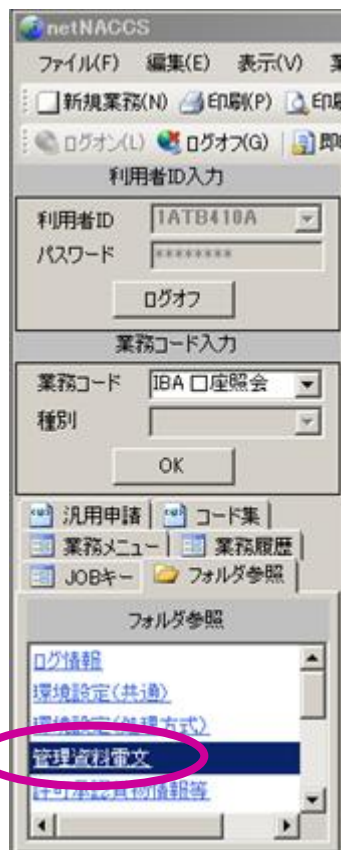
取出した後は「状態」欄が「取得済み」に変わります

各管理資料の名称および配信日につきましてはNACCS掲示板→業務仕様書・関連資料に掲載されている「管理資料配信日一覧」をご確認下さい。



- ・管理資料の通常取出は、配信日を含めて**7日間**(土日祝日を含む)の保存期間中に一度のみ可能です
- ・7日間経過後は、管理資料情報の再取出にて取得します(配信日を含めて**62日間**)
- ・保税管理資料保存サービスを追加お申込みされているお客様は **5年間**保存とし、オンライン業務(DLH01)により必要な期間の資料取出しが可能です

○ 取出し済みの管理資料は、以下の手順で展開および確認が可能です。



①「フォルダ参照」タブの「管理資料電文」をクリック

②管理資料電文が保存されているフォルダが開く
開きたいファイルをダブルクリックし展開

③管理資料電文を表計算ソフトで開く
(画面はMicrosoft社のMS-Excelで展開したもの)

搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消E	貨物管理番号	船舶	船舶名	入港日	品名	個数
20080109	'1500	20080110	'1000	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080109	'1100	20080110	'1530	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110	'	20080111	'	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080109	'1330	20080111	'1500	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110	'1800	20080112	'0930	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080111	'1130	20080112	'1000	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110	'	20080113	'	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080111	'1500	20080113	'1100	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080112	'1600	20080113	'1500	0	DSEN227B	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080113				0	DSEN227B	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	

管理資料は社内で確実な管理をお願いいたします。

【サービス対象管理資料】

※利用可能業種：CY、保税蔵置場、航空会社、機用品業

	業務 仕様書 番号	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	T19	航空輸入貨物搬出入データ（航空）	ABS6900	日報	
2	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ（航空）	ABS7000	日報	
3	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ（航空）	ABT6300	日報	
4	S14	航空輸出貨物搬出入データ（航空）	ABT6400	日報	
5	G01	輸入貨物搬出入データ（海上）	SBS1400	週報	月曜日配信
6	G05	貨物取扱等一覧データ（海上）	SBS1700	週報	火曜日配信
7	G08	輸入貨物コンテナ関連データ（海上）	SBS1800	週報	月曜日配信
8	G02	輸出貨物搬出入データ（海上）	SBT0200	週報	火曜日配信
9	G09	輸出貨物コンテナ関連データ（海上）	SBT0500	週報	火曜日配信

★当サービスの利用料金は、1利用者コード毎に月額1,000円（税抜）です。

★DLH01業務の従量料金は、4円（プランA）又は5円（プランB）です。



本サービスを利用される場合、あらかじめ利用契約の変更手続きが必要となります。

詳細につきましてはNACCS掲示板 | [各種資料](#)よりご参照ください。

『[保税管理資料保存サービス](#)』

見本持出について

MHA 見本持出許可申請	<p>貨物情報が登録されている貨物を見本として一部持ち出す場合に申請する業務です。</p> <p>関税法基本通達32-3に規定する包括許可に係る申請はMHAの対象外であり、マニュアルによる申請を行います。(汎用申請「HYS」も可能)</p> <p>見本持出申請を行った場合、簡易審査扱い(区分1)の場合は即時に、また、書類審査扱い(区分2)の場合は、税関による見本持出審査終了(MHE)業務により、見本持出許可通知情報が配信されます。</p>
MHC 見本持出取消	<p>MHA業務を行った利用者が、税関の許可前にあらかじめ税関保税担当部門に申し出た後に行う業務です。</p> <p>許可後に取り消す場合は、「NACCS登録情報変更願」を税関へ提出し、税関が取消すこととなります。</p>
MHO 見本持出確認登録	<p>MHA業務にて許可となった見本を、保税地域等から一時持ち出した場合は、本業務にてその旨を登録します。</p> <p>MHA業務による持出期間終了日の2日後に見本持出情報が削除されるため、それ以降は、本業務が実施できなくなります。</p> <p>本業務は任意業務ですが、管理統計資料「貨物取扱等一覽データ」の一時持出年月日に出力する必要がある場合は、本業務が必要となります。</p> <p>本業務の取消しは、本業務で行います。</p>

MHA(見本持出許可申請)入力画面

貨物管理番号*	SAKA1234567890	開始日、終了日は下記の範囲内のみ入力可能 システム入力日 ≤ 持出期間開始年月日
申請官署	<input type="text"/>	
蔵置場所	<input type="text"/>	NACCS掲示板の『個数単位(包装種類)』コード 表を参照
持出期間開始日*	2012/02/19	
終了日*	2012/02/25	NACCS掲示板の『通関数量換算単位』コード 表(NACCS数量単位コード B列)を参照 NACCS数量単位コード(一例) コード 単位 コード 単位 KG キログラム CM 立方メートル MT メトリックトン CF 立方フィート LB ポンド KL キロリットル
持出先*	SHOKUHIN KENSAJYOU NO.1	
個 数	10 - BG	
数 量*	100.000 - KG	持出事由
品 目	<input type="text"/>	
見本品名*	VEGETABLE PRODUCTS	KNP 荷主検品
価 格*	1000 - USD	FOD 他法令該当 (食品衛生法)
持出事由*	FOD	LAW 他法令該当 (食品衛生法以外)
記 事	検査のためサンプルとして改修。	OTH その他

見本持出許可申請を行うと、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定されます。
 「簡易審査扱い」に選定された申請は、即時に許可となります。
 「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行う「見本持出許可申請審査終了(MHE)」業務により許可となります。

MHC業務は、MHA業務により登録された内容を取り消す業務です。

MHC(見本持出取消)入力画面

見本持出許可申請番号＊ 15000076550

MHA(見本持出許可申請)で付与された見本持出許可申請番号を入力する。



<MHC(見本持出取消)の申請者>

許可前
MHC
申請者

許可後
MHC
税関

MHA(見本持出許可申請)の許可前は申請者が、許可後は税関がMHC(見本持出取消)業務を行います。

- ・入力された見本持出許可申請番号に対する「見本持出確認登録(MHO)」業務が行われていると取り消しができなくなります。
- ・MHA業務の内容訂正業務はありませんので、内容訂正の場合は取り消し後に再度申請となります。

MHO(見本持出確認登録)入力画面

処理区分*	9	(9 : 一時持出 1 : 一時持出取消し)
見本持出許可申請番号*	15000076550	
一時持出日時	2012/02/20	- 14:00

MHOの取消しは、
1:一時持出取消しを入力

MHA(見本持ち出し許可申請)でシステムで
付与された見本持出許可申請番号を入力

持出年月日(西暦)は必須※
時間(24時間制)は任意

※下記のMHAによる持出許可期間範囲内
のみ入力可能
(持出期間開始年月日 ≤ 一時持出年月日 ≤
持出期間終了年月日)

MHOの取消しは、**MHO登録実施日含め2日**
(日・祝除く)まで

保税地域等から一時持出された場合は、蔵置場所の倉主等は、本業務により速やかに一時持出された旨の登録を行います。

MHA業務による持出期間終了日の**7日後(日・祝日除く)**に見本持出情報が削除されるため、それ以降は、本業務が実施できなくなります。

保税運送業務について

保税運送申告について

■ OLC11保税運送申告呼出し

保税運送申告番号 (個別運送管理番号)	<input type="text"/>	保税申告DBから情報呼び出す場合は「保税申告番号」を入力
貨物管理番号	1 <input type="text"/>	貨物情報DBから情報呼び出す場合は「貨物管理番号」を入力
	2 <input type="text"/>	

必須入力項目

- 「運送種別」コード
- NR: 一般運送
 - EA: 一般運送 (船側発送で揚地詮議有の場合)*1
 - QU: 検疫の経由運送
 - KR: 仮陸揚貨物の運送
 - MK: 市内運送 *2
 - KS: 簡易運送 *3
 - AU: 特定保税運送

■ OLC 保税運送申告 (共通部上段)

共通部 **繰返部**

処理区分 (9:登録 5:訂正 1:取消)

保税運送申告番号 (個別運送管理番号)

包括保税運送承認番号

搬入時・開庁時識別 申告官署

申告者 -

住所

自社・他社

運送具 運送目的 運送種別

運送期間 2011/11/24 から / / まで

発送地	保税地域	パス	港	-
到着地	-			

「申告者」
代理申告を行う場合に入力
※保税蔵置場が申告者の場合は入力不要

「自社・他社」区分
代理申告を行う場合に入力
・J: 自社運送する場合
・T: 他社運送する場合

※保税運送申告または特定保税運送の場合は、運送種別をコードで必須入力。なお、特定保税運送の場合は「AU」のみ入力可能

※包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合は、入力不可

*1 揚地詮議有とは、石炭、鉄鉱石、穀物等、ばら積み船で輸送する貨物で船卸後に数量を確定させる場合をいう

*2 関税法基本通達63-5(3)イに定める申告価格等の記載の必要がないと認められる「同一市町村内の保税運送」

*3 関税法基本通達63-5(3)ロに定める申告価格等の記載の必要がないと認められる「その他税関長が取締上支障がないと認めた貨物の保税運送」

SHI: 荷主指定蔵置場へ搬入のため

RES: RE-SHIPのため

FED: FEEDER運送

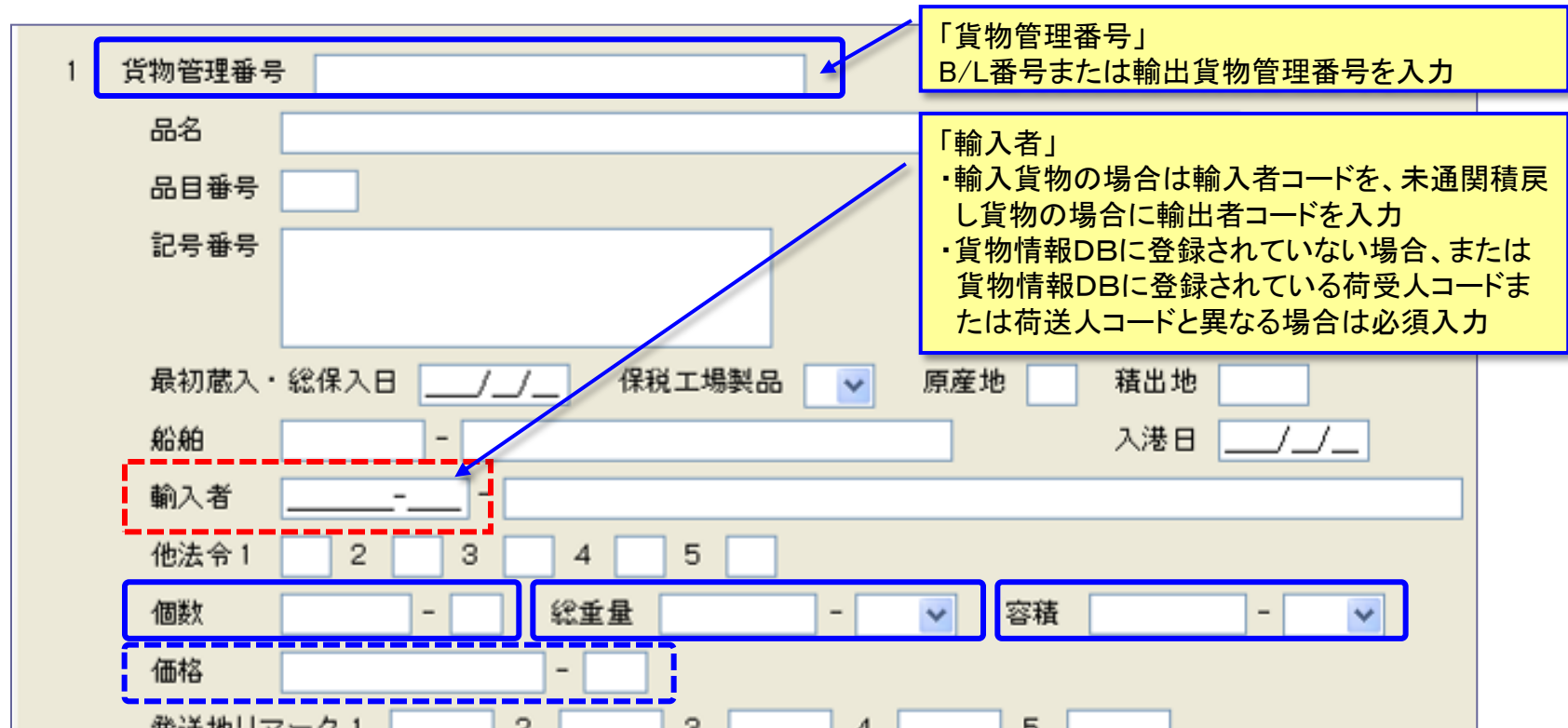
BAG: 旅具通関のための運送

KNU: 輸入申告中の運送

OTH: その他

包括保税運送に係る個別運送情報及び特定保税運送の登録の場合は「KNU」は入力不可

■ OLC 保税運送申告(共通部下段)



The screenshot shows a web form for OLC tax transport declaration. The form includes fields for:

- 1 貨物管理番号 (highlighted with a blue box and arrow pointing to a yellow callout box)
- 品名
- 品目番号
- 記号番号
- 最初蔵入・総保入日 (date field)
- 保税工場製品 (dropdown menu)
- 原産地 (country field)
- 積出地 (country field)
- 船舶 (ship name field)
- 入港日 (date field)
- 輸入者 (highlighted with a red dashed box and arrow pointing to a yellow callout box)
- 他法令 1, 2, 3, 4, 5 (checkboxes)
- 個数 (quantity field)
- 総重量 (total weight field)
- 容積 (volume field)
- 価格 (price field, highlighted with a blue dashed box)
- 発送地 (origin field)

Callout boxes provide additional instructions:

- 「貨物管理番号」
B/L番号または輸出貨物管理番号を入力
- 「輸入者」
・輸入貨物の場合は輸入者コードを、未通関積戻し貨物の場合に輸出者コードを入力
・貨物情報DBに登録されていない場合、または貨物情報DBに登録されている荷受人コードまたは荷送人コードと異なる場合は必須入力

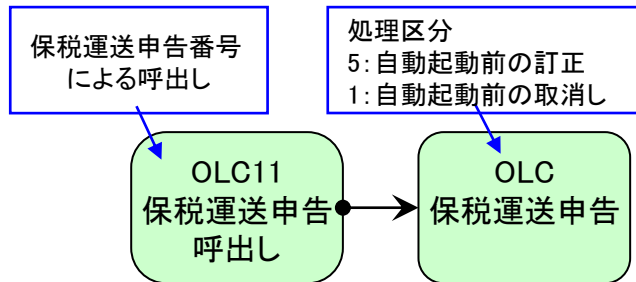
必須入力項目

- ・1申告で登録できるコンテナ本数は100本です。
- ・品名欄等、貨物情報DBから補完されない場合に、必須入力となる項目もあります



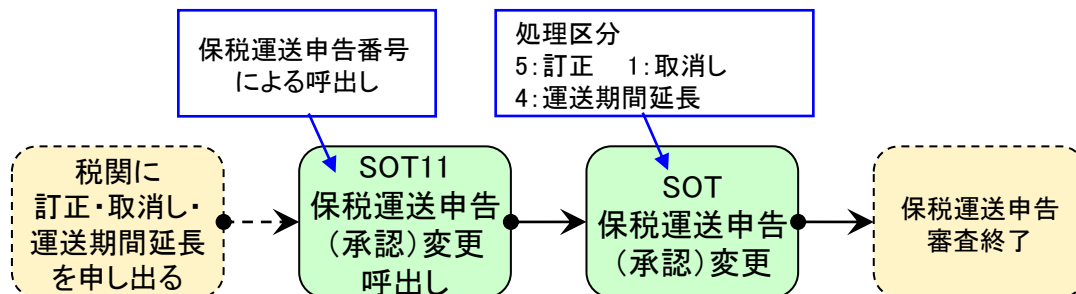
■ 保税運送申告前(自動起動前)の訂正・取消し

- 「開庁時自動起動」あるいは「搬入時(船卸時)自動起動」にて登録した保税運送の自動起動前の場合の訂正・取消しは、OLC11で呼び出しの上、OLC業務にて行います。



■ 保税運送申告後(承認前・承認後)の訂正・取消し・運送期間延長申請

- 保税運送申告後(承認前・承認後)の訂正・取消し、及び承認後の運送期間延長申請は、税関に申し出た後、SOT11で呼び出しの上、SOT業務にて行います。SOT業務は税関による審査終了により承認されます。
- (※注意)**「到着地の訂正」を除き、既に発送された貨物の訂正・取消しはできません。
- 税関の了解を得た上で一旦発送地での搬出確認登録を取消し後、SOT業務にて訂正・取消しを行います。



以下の場合には、システムでの訂正・取消しができませんのでご注意ください。

- ・保税運送期間を過ぎた後の運送期間の延長
- ・保税運送申告後の訂正が9回を超える場合
- ・輸入申告中の運送申告の訂正
- ・運送期間延長承認申請の訂正及び撤回

など

■ SOT11 (保税運送申告(承認)変更呼出し)

■ SOT (保税運送(申告承認))

共通部 繰返部

処理区分 (5:訂正 1:取消し)

保税運送申告番号(個別運送管理番号)

包括保税運送承認番号

搬入時・開庁時識別 申告官署

申告者 -

住所

自社・他社

運送具 運送目的 運送種別

運送期間 から まで

発送地 パース 港 -

到着地 -

記事 1

1 訂正区分 (2:追加 3:取消し 5:訂正または訂正なし)

貨物管理番号

処理区分* (5:訂正 1:取消し 4:運送期間延長)

保税運送申告番号*
(個別運送管理番号)

「処理区分」
5:訂正 1:取消し 4:運送期間延長



【参考】 貨物管理番号単位の訂正・取消・追加の入力方法
 複数の貨物管理番号をまとめて1つの保税運送申告をしている場合で、貨物管理番号単位での訂正・取消・追加が発生したときは以下の通り入力します。

【入力例】1つの保税運送申告において、貨物A,Bを申告していた場合

項目	処理区分 (共通項目)	訂正区分 (欄項目)		訂正区分 (欄項目)	
		貨物Aの 訂正区分 (欄項目)	貨物Bの 訂正区分 (欄項目)	貨物Cの 訂正区分 (欄項目)	貨物Cの 訂正区分 (欄項目)
共通部のみを訂正	5(訂正)	5(訂正なし)	5(訂正なし)	—	—
訂正	5(訂正)	5(訂正)	5(訂正なし)	—	—
貨物Aの欄項目訂正	5(訂正)	5(訂正)	5(訂正なし)	—	—
貨物Bの取消し	5(訂正)	5(訂正なし)	3(取消し)	—	—
貨物Cの追加	5(訂正)	5(訂正なし)	5(訂正なし)	2(追加)	—

「訂正区分」
2:追加 3:取消し 5:訂正または訂正なし

SOT11で申告情報と呼出し、必要箇所を入力・上書き訂正します。

※「申告官署」、「申告者」、「発送地」、及び「運送期間の開始日」は訂正できません。

一旦、SOT業務にて保税運送申告を取り消し後、再度OLC業務にて保税運送申告を行います。



参 考

■ ICG業務 貨物情報照会

- 個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。

貨物管理番号* 0000409351

指定情報

(指定情報)

SMR : 概要情報	PRM : 保税運送申告等税関手続情報
TTL : 全体情報	VAN : コンテナ貨物情報
CON : 貨物状況情報	DPR : 船積情報
SHP : 荷送受人情報	RSH : 積戻し貨物到着時情報
ENT : 搬入予定情報	ARR : 船卸情報
BND, XXXXX : 入出庫管理情報	DMG : 事故情報
TRN : 搬出入情報	HAN : 搬入時申告情報
DIT : 輸出入申告関連情報	FTM : フリータイム情報
OLT : 保税運送関連情報	RPK : 船卸状況情報
DCL : 輸出入許可情報	ACT : 請求情報

指定情報欄にコードを入力することにより、詳細情報を照会可能。

※入力がない場合、概要(SMR)情報が照会される。

■ ICG 貨物情報照会 結果 (TTL: 全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号 指定情報
 次貨物管理番号 次指定情報

最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者	最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者
2012/02/20 - 18:38:58	CCL	1ACB7	2012/02/20 - 18:31:21	VAN	1AHB7
2012/02/20 - 18:37:31	CLR	1ACB7	2012/02/20 - 18:29:34	EDC	1ATB0
2012/02/20 - 18:34:23	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:25:44	BIC	1AHB7
2012/02/20 - 18:34:01	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:24:39	ECR	
2012/02/20 - 18:31:59	VAN	1AHB7	/ / - : :		

貨物状況 荷渡可能表示 貨物種別

積戻し貨物表示 積戻し輸出管理番号
 混載表示 混載親日/L番号
 仕分仕合表示 仕分親貨物管理番号
 荷受形態 荷渡形態 運送形態 搬入種別 通関種別 事故確認表示

品名
 記号番号

総個数 総重量 ネット重量
 原産地 最終仕向地

貨物情報登録者 船会社 船舶代理店 通関業
 危険貨物 ブッキング番号 社内整理番号
 船舶 - 航海番号

入港日 船卸港 船卸場所
 出港予定日 船積港 船積場所

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示されます。

- ・最新更新業務: 業務コードを表示
- ・最新更新利用者: 利用者コードを表示

貨物種別を表すコードが表示されます。

22=輸出貨物(積戻し貨物を含む)
23=輸入貨物 28=仮陸揚貨物

貨物状況を表すコードが表示されます。

BND: 未許可蔵置中
EXP: 輸出許可済(積戻し許可済を含む)
IMP: 輸入許可済(BP・蔵入承認含む)
TRN: 運送中
CCL: 船積み確認済み
END: 削除表示設定(システム外搬出、仕分仕合済、デバンニング済等)
SSP: 訂正保留中
MAN: 貨物手作業移行 など

通関種別を表すコードが表示されます。

N=一般通関 T=システム外許可済
H=本船扱い F=ふ中扱い
S=特定輸出申告、特定委託輸出申告
または特定製造貨物輸出申告

■ ICG 貨物情報照会 結果(TTL:全体情報下段)

荷送人 P005A555-0000 - NACCS SYOUJI CO.,LTD.

荷受人 - - NACCS U.S.A. CO.,LTD.

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置 個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日
-	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /

申告種別 申告番号 申告日 審査終了日 許可日

LE 13676245210 2012/02/20 2012/02/20 2012/02/20

税関手続種別 手続者 許可承認番号 申告申請日 許可承認日 到着

最新

その前

フリータイム日付 /

コンテナ数 2

コンテナ番号 状況 フリータイム

TTSU9876540	G	/	GMDU9876540	G	/		/		/
-------------	---	---	-------------	---	---	--	---	--	---

輸出入申告が行われている場合に出力
※ 照会者が照会可能である場合のみ。

コンテナ貨物の場合にコンテナの状況を表すコードが表示されます。

A=船卸前 E=バンニング済み
B=船卸済み F=CY搬入済み
C=CY搬出済み G=船積み処理済み
D=デバンニング済み

■ ICN業務 コンテナ情報照会

- コンテナ単位にコンテナ情報を照会します。

コンテナ番号* TTSU9876540



■ ICN コンテナ情報照会 結果(上段)

コンテナ番号 TTSU9876540

次コンテナ番号*

最新更新日時 2012/02/20 - 18:38 最新更新業務 CCL 最新更新利用者 1ACB7

コンテナ状況 1 輸出入識別 22 船会社 SAKA コンテナオペレーション会社

空/実入 5 サイズ 42 タイプ GP 貨物数 1

荷渡形態 所有形態 バンニング形態 マニュアル輸出許可済識別

条約適用識別 1 卸コンテナ自動抽出対象外 搬出可能識別

船舶コード 9999 - NACCS MARU 航海番号 100 船卸港 -

積出港 JPTYO 入港年月日 / / 船卸予定日時 / - :

船卸年月日 / / 船積年月日 2012/02/20

蔵置場所 - - 搬入年月日 / / 搬入確認者

発送地 1HB07 - ZOUCHI-B07 搬出年月日 9912/02/20 搬出確認者 1HB07

コンテナの輸出入識別を出力
22:輸出 23:輸入 28:仮陸揚

空/実入コンテナ識別を出力
4:空 5:実入

コンテナの現在の状態を、コードで表示されます。

1:削除表示	5:積荷目録提出後、船卸前
2:差止中	6:蔵置中
3:容器通関済(コンテナリスト提出)	7:運送中
4:積荷目録提出前	8:バンニング経由中

■ ICN コンテナ情報照会 結果(下段)

搬入先	1CB07 - CY-B07		
経由地			
保税運送登録者	包括 保税運送承認番号		
手続種別	LCN	提出番号等	15000077620
		手続年月日	2012/02/20
		登録者	1ACB7
		コンテナ管理者	
バンニング	場所	地域名	年月日
	情報登録者		
1	1HB07	ZOUCHI-B07	2012/02/20
2			/
3			/
4			/
5			/
シール番号	1	100	2
	3		4
	5		6
ブッキング番号	BOOKING1		
事故届出者			
事故	1	2	3
	4	5	事故確認状況表示
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> ⋮ ⏪ ⏩ 1 /10 ⏪ ⏩ </div>			
01	貨物管理番号		
	品名		
	個数	-	許可・承認状況

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に、その税関手続種別コードを出力
 DCN: 卸コンテナリスト提出
 LCN: 積コンテナリスト提出
 MCI: コンテナ輸入許可
 OLC: コンテナ容器保税運送承認

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号を出力

■ 主な情報照会業務

■ 貨物在庫状況照会 (IWS)

- 保税地域単位に蔵置中の貨物またはコンテナの在庫状況を照会します。

■ 保税運送照会 (IOL)

- 保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送または特定保税運送の情報を照会します。

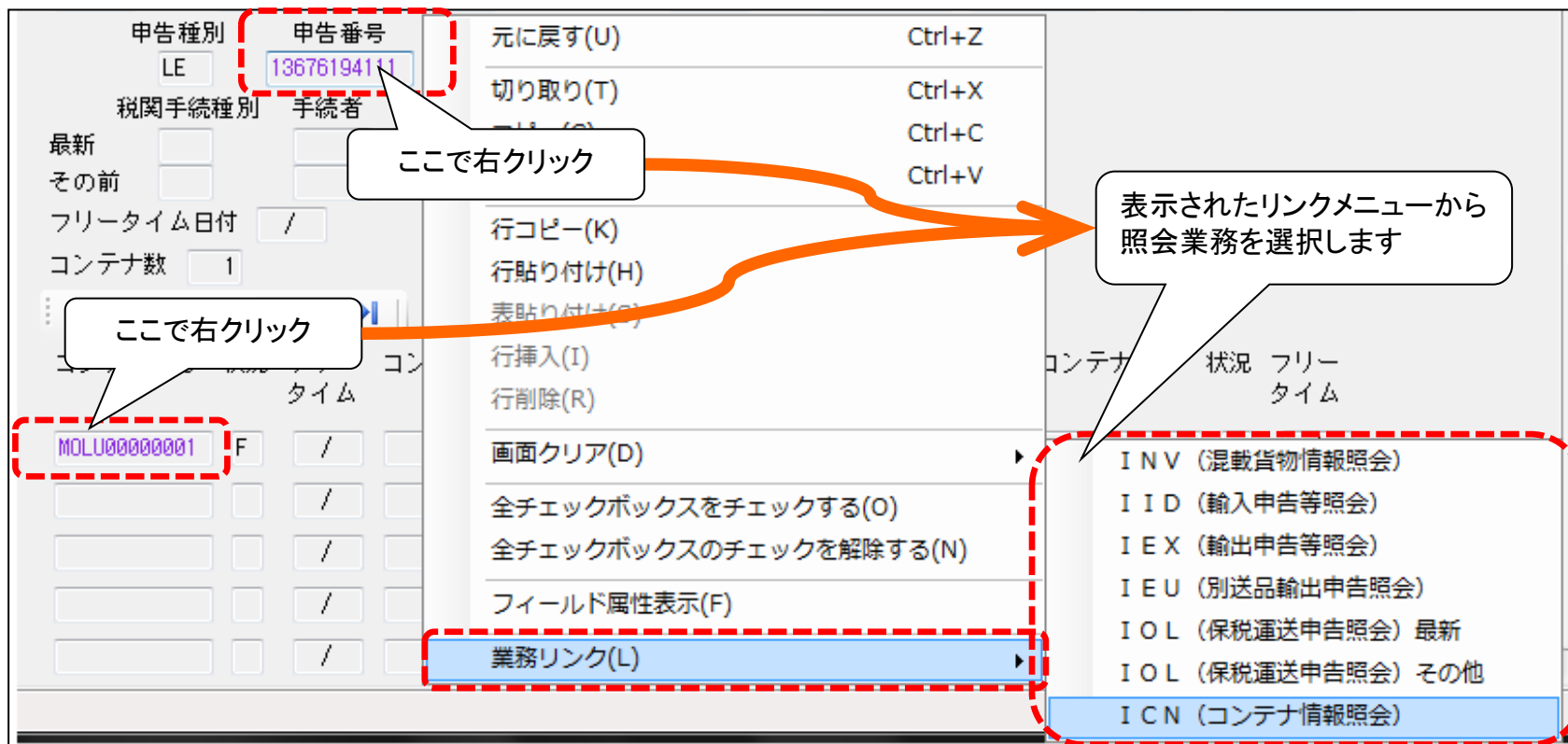
■ 輸入貨物搬入予定照会 (IBI)

- 保税運送承認済、包括保税運送承認に係る個別運送情報登録済または特定保税運送登録済の貨物の情報を、到着地単位に貨物管理番号の一覧として照会します。

■ 輸出貨物搬入予定照会 (IEC)

- 「輸出貨物情報登録」業務が行われた貨物のうち、保税地域に搬入予定の貨物の情報を、保税地域単位かつ搬入予定日単位に輸出管理番号の一覧として照会します。

- ICG・ICNなどの照会業務により表示された記号番号等のうち、別の照会業務を実施可能な場合にその照会業務を自動起動することができます。



申告種別 LE 申告番号 13676194111

税関手続種別 手続者

最新
その前
フリータイム日付 /
コンテナ数 1

ここで右クリック

ここで右クリック

ここで右クリック

元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
貼り付け(C) Ctrl+C
Ctrl+V
行コピー(K)
行貼り付け(H)
表貼り付け(F)
行挿入(I)
行削除(R)
画面クリア(D)
全チェックボックスをチェックする(O)
全チェックボックスのチェックを解除する(N)
フィールド属性表示(F)
業務リンク(L)

表示されたリンクメニューから照会業務を選択します

コンテナ 状況 フリータイム

INV (混載貨物情報照会)
IID (輸入申告等照会)
IEX (輸出申告等照会)
IEU (別送品輸出申告照会)
IOL (保税運送申告照会) 最新
IOL (保税運送申告照会) その他
ICN (コンテナ情報照会)